

第6回

平成16年6月23日(水)午後2時～4時

牛込筆筈地域センター

合澤委員・金澤委員・加藤委員・小林委員・日高委員
管理課長・副参事(少子化対策計画担当)・児童家庭課長
参加者12名(男6・女6)



計画に対する意見・提案

計画の推進体制

素案には、事業一覧には担当課が示されていて分かり易くなっている。しかし次世代育成支援計画は全ての課が関連することが多いので区役所の横断的連携が必要だと思う。

きめこまやかな支援

4歳で8割以上の子どもが保育園や幼稚園に通っているが、通っていない子どもはどうしているのか。保育園にも幼稚園にも通っていない子どもが心配だ。

カナダでは、子どもが産まれると地域の人が押しかけて世話をしてくれると聞いたが、新宿でもそんな事ができないか。

保育施設の充実

若い人は保育園が充実していないと、仕事をしながら子どもを生む事が出来ない。区境では隣接区の保育園に通ったりしている。廃校の小学校等に保育園を作る事が出来ないのか。

児童館の充実

児童館の重要性を感じているが、特に幼児スペースを増やす必要があると思う。

学童クラブの充実

学童クラブは1年から3年生対象だが、4年生以降も対応してほしい。

区民との協働

保育園の統合に遭遇したが、子どもにもかなりの負担をしいた気がする。十分に配慮してほしい。

交通安全

交通安全に興味を持っている。交通バリアフリーの観点で障害者や老人の歩き易さにあり、子どもの交通安全という観点から少しずれているように思われる。子どもが事故にあわないという観点が欲しい。

牛込筆筈地域について

地下鉄大江戸線開通後、マンションが増え、新しい住民も増えたがなかなか交流が進まない傾向がある。

北山伏協働モデル事業では、いつでもフラリと親子が立ち寄れる場所等を作りたいと思っているが、常時オープンするには地域の多くの人のボランタリーな協力が必要だ。

策定協議会委員の意見・提案

地元を愛して、その地域の子どもたちのことを、自分の子供たちのように心配して、見ていてくださる方々が多いと思う。

新しく住みはじめた方々との自然な融和ができればいいなと感じる。新しく入ってこられた方々も、何か必要な時は“発信”してみれば、反応が十分に返ってくる地域だと思う。